

VIII. 供給の概況

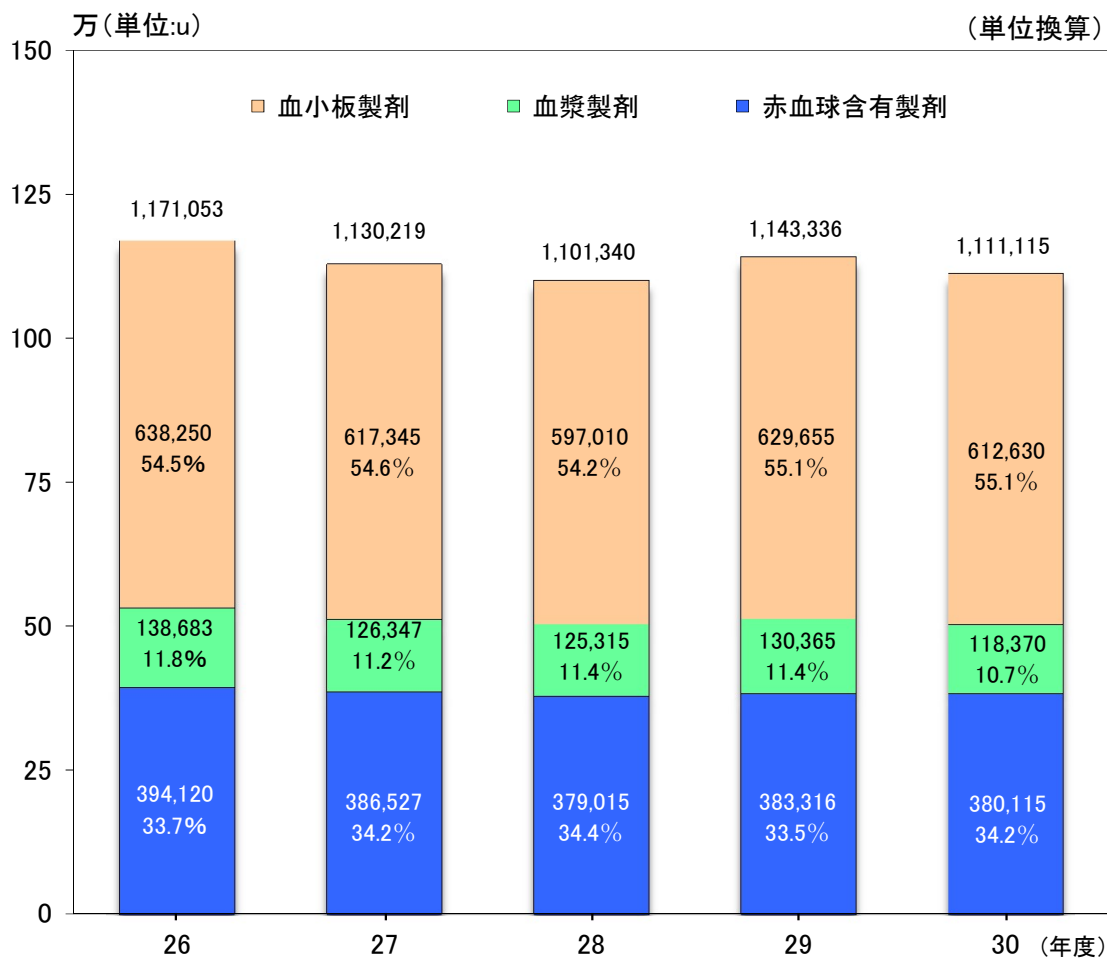
Outline of Supply

1. 供給の推移

Yearly Number of Supply

(1) 血液製剤供給状況の推移

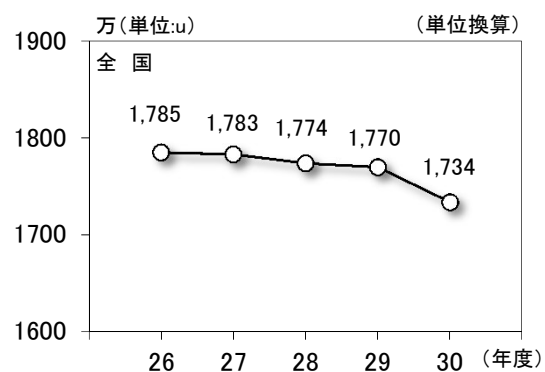
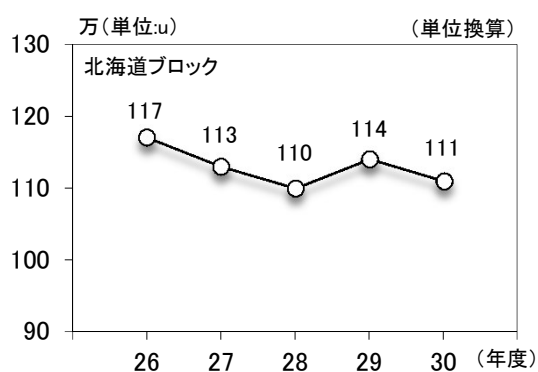
Yearly Number of Blood Components Supplied



※ 血漿製剤の単位換算は、FFP-LR120を1単位、FFP-LR240を2単位、FFP-LR480を4単位としていること。

(2) 管内供給数推移

Yearly Number of Blood Components Supplied within the Block



2. 供給の実績

Number of Blood Components Supplied

(1) センター別・血液製剤供給実績

Number of Blood Components Supplied Classified by Center

血液製剤別供給状況

Number of Blood Components Supplied

(単位:バッグ)

センター名 血液製剤				北 海 道	旭 川	釧 路	函 館	合 計
赤 血 球 製 剤 含 有 製 剤	赤 血 球 製 剤	1単位	照 射	7,289	1,289	392	423	9,393
			未照射	206	0	0	0	206
		2単位	照 射	96,579	28,677	21,118	17,954	164,328
			未照射	16,620	4,310	0	0	20,930
		計	照 射	103,868	29,966	21,510	18,377	173,721
			未照射	16,826	4,310	0	0	21,136
	換算計 (単位:u)			233,893	67,263	42,628	36,331	380,115
	全 血 製 剤	1単位	照 射	0	0	0	0	0
			未照射	0	0	0	0	0
		2単位	照 射	0	0	0	0	0
			未照射	0	0	0	0	0
		計	照 射	0	0	0	0	0
			未照射	0	0	0	0	0
		換算計 (単位:u)			0	0	0	0
血 漿 製 剤		1単位	未照射	860	274	15	125	1,274
	2単位	未照射	31,344	7,869	5,456	2,545	47,214	
	4単位	未照射	3,558	864	320	925	5,667	
	計	未照射	35,762	9,007	5,791	3,595	54,155	
	換算計 (単位:u)			77,780	19,468	12,207	8,915	118,370
血 小 板 製 剤	1単位	照 射	0	0	0	0	0	
	2単位	照 射	0	0	0	0	0	
	5単位	照 射	449	90	25	5	569	
	10単位	照 射	13,062	1,748	1,007	814	16,631	
	15単位	照 射	3,940	793	981	1,383	7,097	
	20単位	照 射	9,232	4,372	1,198	2,049	16,851	
	計	照 射	26,683	7,003	3,211	4,251	41,148	
	換算計 (単位:u)			376,605	117,265	48,870	69,890	612,630
換算合計 (単位:u)			688,278	203,996	103,705	115,136	1,111,115	

センター別供給割合				61.9%	18.4%	9.3%	10.4%	100%
-----------	--	--	--	-------	-------	------	-------	------

(2) 月別製剤別供給数

Monthly Number of Blood Components Supply

(単位:u)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
製剤種別	赤血球含有製剤	31,407	32,938	31,450	32,147	32,575	28,825	33,830	31,901	32,113	32,333	29,718	30,878	380,115
	全血製剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	31,407	32,938	31,450	32,147	32,575	28,825	33,830	31,901	32,113	32,333	29,718	30,878	380,115
	血 漿 製 剤	10,536	9,787	9,996	9,855	9,685	7,829	10,776	11,154	9,226	9,933	9,680	9,913	118,370
血 小 板 製 剤		50,085	53,895	53,480	55,755	55,985	50,040	49,530	51,120	50,050	47,335	46,395	48,960	612,630
合 計		92,028	96,620	94,926	97,757	98,245	86,694	94,136	94,175	91,389	89,601	85,793	89,751	1,111,115

製剤種別供給比率

Rate of Blood Components Supplied

赤血球含有製剤 血漿製剤 血小板製剤

単位:u



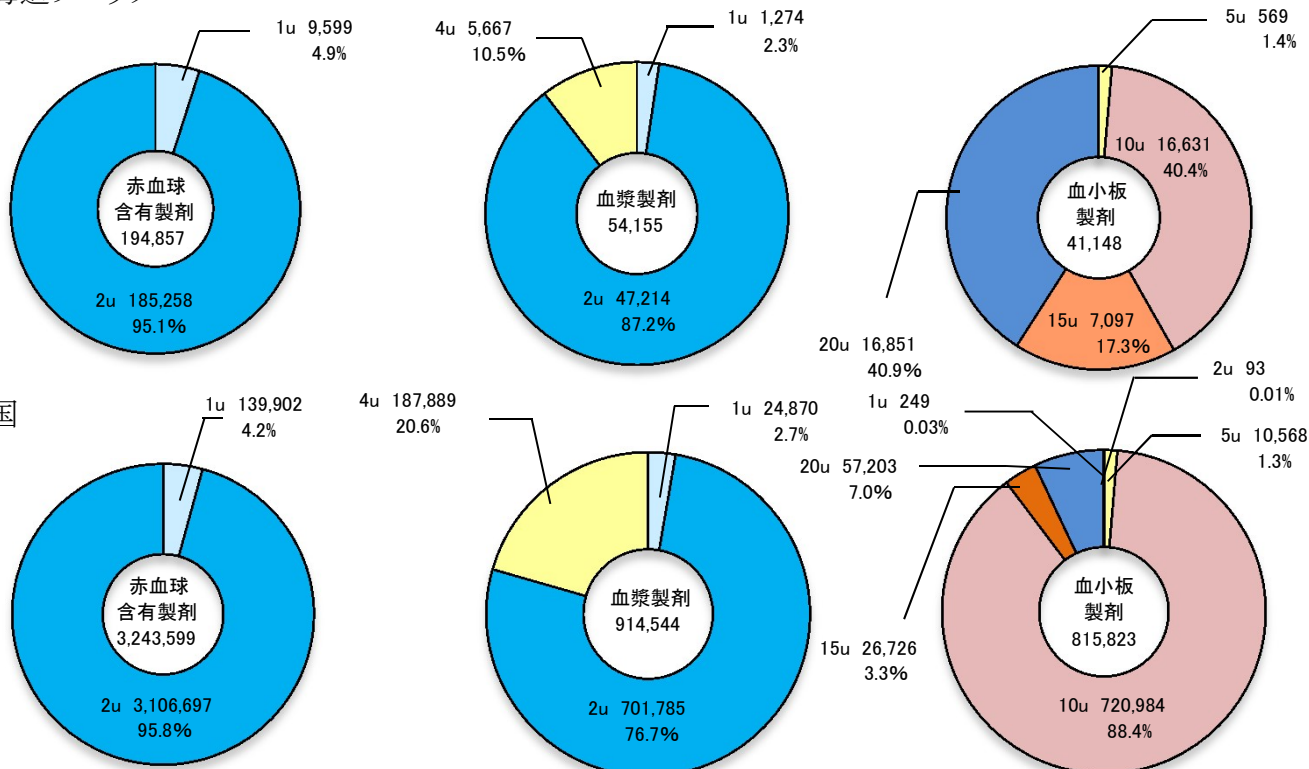
製剤種別規格別供給比率

Rate of Blood Components Supplied Classified by Unit

1u 2u 5u(血漿製剤は、4u) 10u 15u 20u

単位:バック

北海道ブロック

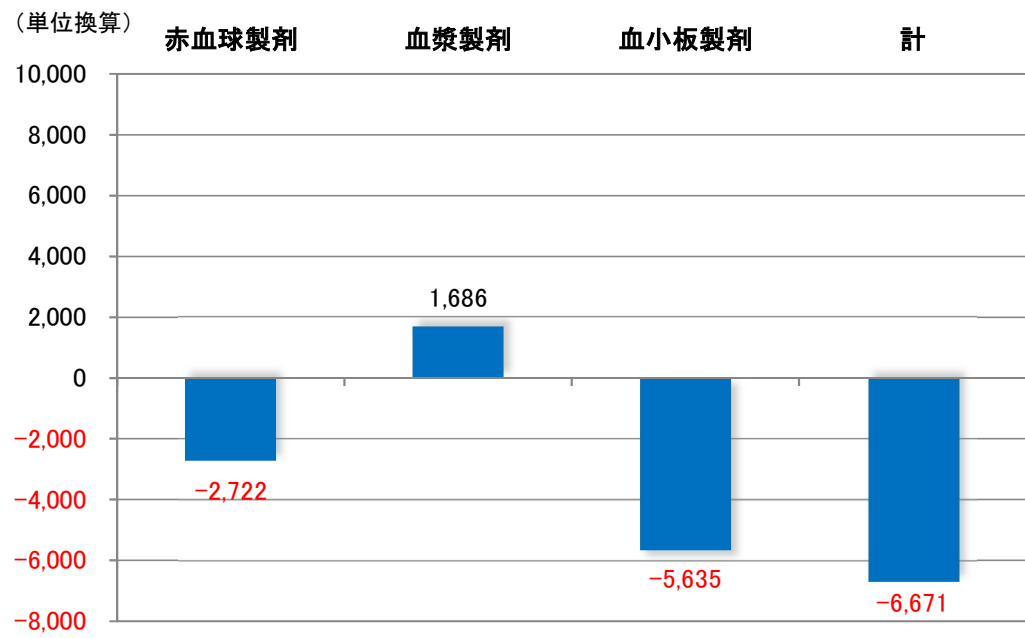


3.需給調整状況

Supply and Demand

(1)道外センターとの需給調整

Supply and Demand with Other Blocks



(受入) (単位:u)

	A	O	B	AB	計
赤血球製剤	1,586	1,032	1,401	734	4,753
血漿製剤	120	24	60	266	470
血小板製剤	2,310	1,850	1,980	1,185	7,325
計	4,016	2,906	3,441	2,185	12,548

(払出)

	A	O	B	AB	計
赤血球製剤	554	513	556	408	2,031
血漿製剤	1,094	399	269	394	2,156
血小板製剤	475	465	410	340	1,690
計	2,123	1,377	1,235	1,142	5,877

(受払)

	A	O	B	AB	計
赤血球製剤	-1,032	-519	-845	-326	-2,722
血漿製剤	974	375	209	128	1,686
血小板製剤	-1,835	-1,385	-1,570	-845	-5,635
計	-1,893	-1,529	-2,206	-1,043	-6,671

4. 血液製剤有効利用状況

Efficient Utilization of Blood Components

(1) 製品有効利用率

Efficient Utilization of Blood Components

(単位:u)

製剤種別 項 目	赤 血 球 含 有 製 剤			血漿製剤 *	血小板製剤 *	合 計
	赤血球製剤	全血製剤 *	計			
製 品 数	382,132	0	382,132	109,249	621,815	1,113,196
製品後減損数	1,047	0	1,047	1,384	5,235	7,666
製品有効利用率 (%)	99.7%	0.0%	99.7%	98.7%	99.2%	99.3%

* この製剤の減損は、アルブミン・グロブリン製剤等の原料として利用される。

6.医薬情報活動の状況

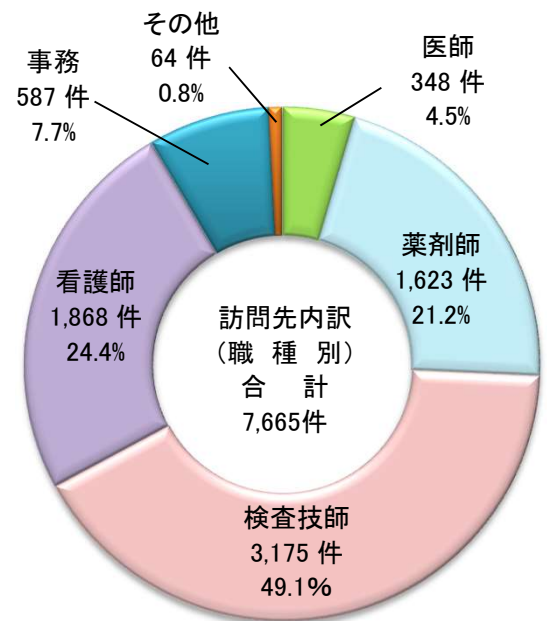
Information Service about Blood Products

(1) MR活動状況

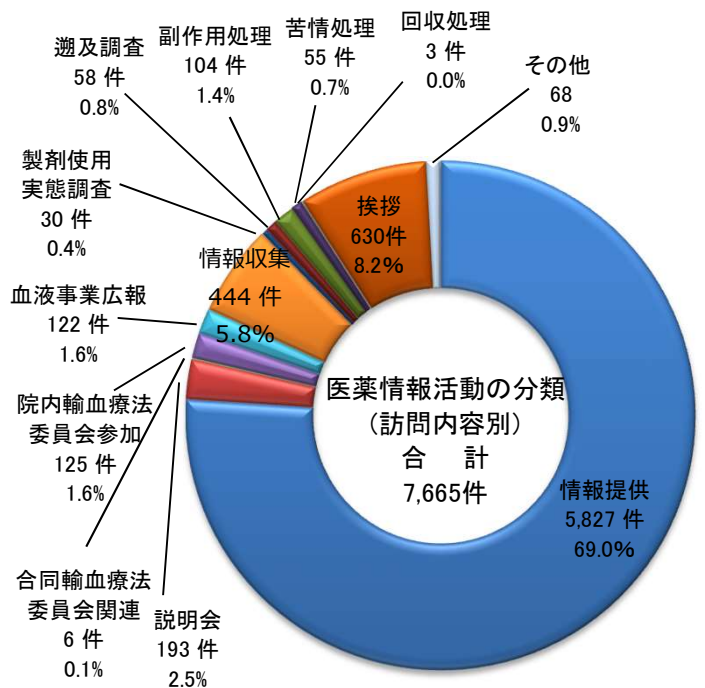
MR(Medical Representatives) Activities

訪問医療機関数(延べ)	7,665
-------------	-------

訪問先内訳	医師	348
	薬剤師	1,623
	検査技師	3,175
	看護師	1,868
	事務	587
	その他	64
	合計	7,665



医薬情報活動の分類	情報提供	5,827
	説明会	193
	合同輸血療法委員会関連	6
	院内輸血療法委員会参加	125
	血液事業広報	122
	情報収集	444
	製剤使用実態調査	30
	遡及調査	58
	副作用処理	104
	苦情処理	55
	回収処理	3
	挨拶	630
	その他	68
	合計	7,665



(2) 講演会、研究会等

Lectures, Research Meetings and Others

開催日	名 称	場 所	参加者数
平成30年 4月 4日	院内説明会 (自己血輸血の注意点、輸血過誤と輸血副作用)	石狩中央整形外科	9名
4日	院内説明会 (きちんと知ろう輸血のこと)	愛育病院	14名
9日	院内説明会 (輸血過誤と輸血副作用)	大川原脳神経外科病院	78名
10日	輸血療法委員会 (輸血後感染症検査状況)	豊岡中央病院	5名
16日	輸血療法委員会 (輸血後感染症院内体制)	旭川赤十字病院	16名
17日	輸血療法委員会 (輸血用血液製剤の安全対策の導入効果と輸血による感染のリスク、診療報酬)	勤医協中央病院	10名
18日	輸血療法委員会 (HEV感染、輸血用血液製剤の安全対策の導入効果と輸血による感染のリスク、診療報酬)	市立室蘭総合病院	9名
18日	輸血療法委員会 (輸血用血液製剤の安全対策の導入効果と輸血による感染のリスク)	旭川医科大学病院	22名
19日	輸血療法委員会 (診療報酬、輸血用血液製剤の安全対策の導入効果と輸血による感染のリスク)	函館赤十字病院	5名
20日	輸血療法委員会 (TRALIの評価・調査結果、HEV感染、診療報酬)	日鋼記念病院	6名
23日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い方および細菌感染)	町立松前病院	27名
23日	院内説明会 (きちんと知ろう輸血のこと)	新札幌整形外科病院	32名
24日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い方および細菌感染)	森病院	27名
26日	院内説明会 (きちんと知ろう輸血のこと)	厚別耳鼻咽喉科病院	48名
5月 8日	輸血療法委員会 (HEV感染、輸血用血液製剤の安全対策の導入効果と輸血による感染のリスク、診療報酬)	道立江差病院	6名
8日	院内説明会 (事故を起こさない自己血輸血)	八木整形外科病院	74名
9日	輸血療法委員会 (輸血用血液製剤の安全対策の導入効果と輸血による感染のリスク)	時計台記念病院	12名
15日	輸血療法委員会 (献血者の移行抗体によるHBs抗体・HBc抗体の陽転が考えられた症例)	勤医協中央病院	8名
15日	輸血療法委員会 (輸血同意書)	士別市立病院	6名
16日	院内説明会 (隣の病院で起きている輸血過誤～過誤防止のポイントとは～)	北見赤十字病院	186名

開催日	名 称	場 所	参加者数
16日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血副作用)	佐藤病院	45名
16日	輸血分科会 (HEV感染、輸血用血液製剤の安全対策の導入効果と輸血による感染のリスク、診療報酬)	北海道赤十字血液センター 函館事業所	18名
17日	輸血療法委員会 (血小板製剤の細菌混入副作用、輸血療法マニュアル)	函館赤十字病院	4名
17日	院内説明会 (きちんと知ろう輸血のこと)	江別病院	39名
17日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと適正使用へ向けた取り組み)	静和記念病院	40名
18日	輸血療法委員会 (輸血用血液製剤の安全対策の導入効果と輸血による感染のリスク)	北見赤十字病院	5名
22日	輸血療法委員会 (北海道輸血シンポジウム)	市立旭川病院	11名
22日	院内説明会 (きちんと知ろう輸血のこと)	札幌しらかば台南病院	39名
23日	輸血療法委員会 (輸血後細菌感染)	札幌北楡病院	10名
23日	院内説明会 (輸血過誤、輸血用血液製剤の取り扱い、輸血副作用)	吉田病院	35名
25日	院内説明会 (血液製剤の適正使用 -最近の話題-)	清水赤十字病院	16名
28日	輸血療法委員会 (輸血用血液製剤の安全対策の導入効果と輸血による感染のリスク)	旭川医療センター	10名
28日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	小樽掖済会病院	7名
29日	輸血療法委員会 (出張所の供給体制)	網走厚生病院	13名
29日	院内説明会 (きちんと知ろう輸血のこと)	新さっぽろ脳神経外科病院	63名
30日	院内説明会 (きちんと知ろう輸血のこと)	札幌南病院	57名
31日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い方および輸血による細菌感染)	亀田病院	174名
31日	院内説明会 (輸血過誤～過誤防止のポイントとは～)	札幌緑愛病院	58名
31日	院内説明会 (安全で適正な輸血のため)	広域紋別病院	29名
6月 1日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い方および輸血による細菌感染)	函館病院	25名
4日	院内説明会 (輸血過誤～過誤防止のポイントとは～)	西成病院	73名

開催日	名 称	場 所	参加者数
5日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い方および輸血による細菌感染)	黒松内町国保病院	24名
5日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	札幌みどりのクリニック	10名
6日	輸血療法委員会 (HEV感染)	斜里町国民健康保険病院	10名
6日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い方および輸血による細菌感染)	八雲総合病院	70名
7日	室蘭地区検査技師会 (輸血検査の勉強会輸血検査の基礎)	室蘭市医師会臨床検査センター	19名
7日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと副作用)	札幌南一条病院	29名
7日	院内説明会 (安全で適正な輸血のために)	利尻島国保中央病院	53名
8日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	北祐会神経内科病院	51名
11日	院内説明会 (輸血用血液製剤取扱いと輸血過誤事例)	登別すずらん病院	33名
12日	輸血療法委員会 (輸血後感染症検査の実施手順、輸血療法マニュアル)	豊岡中央病院	6名
12日	院内説明会 (輸血過誤事例)	手稲ネフロクリニック	17名
12日	院内説明会 (安全・適正な輸血のために)	市立旭川病院	17名
12日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	北海道大野病院	48名
13日	院内説明会 (輸血用血液製剤の安全対策の導入効果と輸血による感染のリスク)	留萌市立病院	12名
14日	院内説明会 (輸血療法実施に関する指針)	同樹会苫小牧病院	55名
15日	院内説明会 (輸血検査の基礎)	大川原脳神経外科病院	7名
18日	輸血療法委員会 (輸血用血液製剤の安全対策の導入効果と輸血による感染のリスク、輸血療法マニュアル)	市立函館病院	12名
18日	輸血療法委員会 (北海道輸血シンポジウム)	旭川赤十字病院	12名
19日	輸血療法委員会 (血液製剤の使用指針(新生児・小児に対する輸血療法)、輸血療法マニュアル、北海道輸血シンポジウム)	勤医協中央病院	9名
19日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血に必要な検査)	晴生会さっぽろ病院	34名
19日	院内説明会 (輸血用血液製剤取扱いと輸血過誤事例)	伊達赤十字病院	26名

開催日	名 称	場 所	参加者数
20日	輸血療法委員会 (血液製剤使用指針(新生児・小児に対する輸血療法))	室蘭総合病院	10名
20日	輸血療法委員会 (血液製剤の使用指針(新生児・小児に対する輸血療法))	旭川医科大学病院	22名
25日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血に必要な検査)	晴生会さっぽろ病院	18名
26日	院内説明会 (輸血過誤事例、輸血過誤を防ぐための知識)	篠路はまなすクリニック	36名
26日	輸血分科会 (血液製剤の使用指針(新生児・小児に対する輸血療法)、輸血療法マニュアル、血液センターの歴史)	北海道赤十字血液センター 函館事業所	18名
27日	院内説明会 (輸血手技・輸血用血液製剤取り扱いの注意点)	留萌市立病院	28名
29日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い方および細菌感染)	函館おおむら整形外科病院	23名
7月	3日 輸血療法委員会 (血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン、血液製剤の使用指針(新生児・小児に対する輸血療法)、輸血療法マニュアル)	道立江差病院	7名
	4日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと注意点、輸血副作用)	南小樽病院	19名
	5日 院内説明会 (輸血検査実技講習会)	千歳第一病院	2名
	10日 院内説明会 (安全・適正な輸血のために)	遠軽厚生病院	17名
	11日 院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと適正使用)	白石産科婦人科病院	38名
	12日 院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用)	北海道せき損センター	26名
	12日 院内説明会 (血液型検査の基礎と新生児・乳児の輸血検査)	小樽協会病院	16名
	17日 輸血療法委員会 (2017年非溶血性輸血副作用、2017年輸血感染症例、輸血後感染症検査)	勤医協中央病院	11名
	17日 輸血療法委員会 (2017年非溶血性輸血副作用、2017年輸血感染症例、遡及調査ガイドライン)	士別市立病院	6名
	19日 輸血療法委員会 (2017年非溶血性輸血副作用、2017年輸血感染症例)	函館赤十字病院	5名
19日	輸血療法委員会 (WEB受注)	時計台記念病院	12名
19日	院内説明会 (輸血の注意点)	浦幌町立診療所	9名
20日	輸血療法委員会 (2017年非溶血性輸血副作用)	北見赤十字病院	8名
20日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	札幌東徳洲会病院	19名

開催日	名 称	場 所	参加者数
23日	輸血療法委員会 (2017年非溶血性輸血副作用、2017年輸血感染症例)	旭川医療センター	11名
23日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	JR札幌病院	68名
25日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	札幌徳洲会病院	40名
26日	輸血療法委員会 (2017年非溶血性輸血副作用、2017年輸血感染症例)	市立稚内病院	12名
26日	院内説明会 (輸血の注意点)	釧路三慈会病院	78名
26日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い方、輸血検査の考え方)	道立江差病院	18名
26日	院内説明会 (血液製剤の使用指針と輸血副作用)	札幌白石記念病院	32名
30日	院内説明会 (輸血療法実施に関する指針、関係法規、輸血検査異常反応時の対応)	小樽市立病院	42名
31日	輸血療法委員会 (2017年非溶血性輸血副作用、2017年輸血感染症例)	網走厚生病院	10名
31日	輸血療法委員会 (不規則抗体スクリーニングの検査法)	旭川厚生病院	12名
31日	院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと適正使用)	町立静内病院	38名
31日	輸血療法委員会 (輸血用血液製剤の取り扱い方および輸血による細菌感染)	函館中央病院	60名
31日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	札幌徳洲会病院	46名
8月 1日	輸血療法委員会 (2017年非溶血性輸血副作用、2017年輸血感染症例)	斜里町国民健康保険病院	10名
2日	院内説明会 (輸血の注意点)	道東脳神経外科病院	18名
2日	院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用)	王子総合病院	84名
2日	院内説明会 (輸血手技と輸血用血液製剤取り扱いの注意点)	旭川高砂台病院	26名
7日	院内説明会 (WEB受注導入に伴う使用方法)	函館五稜郭病院	6名
9日	集合型研修会 (輸血検査の寺子屋ベーシック)	旭川赤十字病院	33名
10日	院内説明会 (輸血手技・輸血用血液製剤取り扱いの注意点)	大西病院	12名
15日	輸血療法委員会 (2017年非溶血性輸血副作用、2017年輸血感染症例)	市立室蘭総合病院	8名

開催日	名 称	場 所	参加者数
16日	院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用)	ミネルバ病院	32名
17日	輸血療法委員会 (不規則抗体スクリーニング、交差適合試験用検体の採取時期)	札幌心臓血管クリニック	7名
20日	輸血療法委員会 (2017年非溶血性輸血副作用、2017年輸血感染症例)	旭川赤十字病院	13名
21日	輸血療法委員会 (個別NAT導入後3例目の輸血後HBV感染事例)	勤医協中央病院	9名
21日	院内説明会 (輸血の注意点)	大樹町立国民健康保険病院	24名
21日	院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用)	月形町立病院	16名
22日	輸血療法委員会 (輸血療法委員会設置経緯と委員会で報告検討する事項)	札幌病院	5名
22日	輸血療法委員会 (2017年非溶血性輸血副作用、2017年輸血感染症例)	留萌市立病院	12名
22日	院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用)	本田記念病院	35名
22日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	札幌ライラック病院	40名
23日	院内説明会 (輸血の注意点)	士幌町国民健康保険病院	20名
24日	院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用、適正使用)	札幌南青洲病院	25名
28日	院内説明会 (輸血用血液製剤の特徴と取り扱い、最近の輸血副作用)	札幌心臓血管クリニック	29名
29日	院内説明会 (輸血の注意点)	大樹町立国民健康保険病院	20名
30日	院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用)	恵庭第一病院	49名
30日	院内説明会 (輸血用血液製剤の特徴と取り扱い、不規則抗体)	北新病院	31名
31日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血実施時の注意事項、輸血過誤・輸血副作用)	札幌病院	32名
9月 4日	輸血療法委員会 (2017年非溶血性輸血副作用、2017年輸血感染症例)	道立江差病院	6名
4日	輸血療法委員会 (生物学的製剤基準のパブリックコメント募集)	市立旭川病院	10名
5日	院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用)	真栄病院	50名
5日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	札幌山の上病院	56名

開催日	名 称	場 所	参加者数
10日	院内説明会 (輸血の基礎と注意点)	別海病院	35名
11日	院内説明会 (輸血の注意点)	北見北斗病院	12名
12日	輸血療法委員会 (看護師のための臨床輸血セミナー)	時計台記念病院	12名
12日	院内説明会 (輸血用血液製剤の特徴と取り扱い、輸血過誤対策)	札幌道都病院	68名
13日	院内説明会 輸血の注意点	北見北斗病院	21名
13日	院内説明会 (輸血検査における考え方)	町立松前病院	4名
13日	院内説明会 (安全な輸血療法を行うために)	中頓別町国民健康保険病院	13名
14日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方、2017年非溶血性輸血副作用、2017年輸血感染症例)	えんどう桔梗マタニティクリニック	16名
14日	院内説明会 (きちんと知ろう輸血のこと)	NTT東日本札幌病院	29名
18日	輸血療法委員会 (2017年非溶血性輸血副作用、2017年輸血感染症例)	勤医協札幌病院	7名
19日	輸血療法委員会 (2017年非溶血性輸血副作用)	帯広厚生病院	15名
19日	院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用)	真栄病院	50名
19日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い方および輸血による細菌感染)	函館赤十字病院	7名
19日	院内説明会 (安全で適正な輸血のために)	市立稚内病院	49名
20日	輸血療法委員会 (2017年非溶血性輸血副作用、2017年輸血感染症例)	市立釧路総合病院	11名
20日	輸血療法委員会 (看護師のための臨床輸血セミナー)	函館赤十字病院	5名
20日	院内説明会 (安全で適正な輸血のために)	市立稚内病院	58名
21日	輸血療法委員会 (看護師のための臨床輸血セミナー)	札幌病院	6名
21日	院内説明会 (病原微生物)	札幌スポーツクリニック	48名
25日	輸血療法委員会 (2017年輸血感染症例)	網走厚生病院	11名
25日	輸血療法委員会 (院内のFFPの搬送状況)	旭川厚生病院	12名

開催日	名 称	場 所	参加者数
	26日 院内説明会 (輸血の注意点)	こが病院	34名
	26日 院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用、輸血過誤事例)	室蘭太平洋病院	25名
	26日 院内説明会 (安全な輸血療法を行うために)	浜頓別町国民健康保険病院	16名
	27日 院内説明会 (輸血の注意点)	十勝いけだ地域医療センター	20名
	27日 輸血分科会 (新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長、看護師のための臨床輸血セミナー、血液センターへの問い合わせ事例)	北海道赤十字血液センター 函館事業所	15名
	27日 院内説明会 (きちんと知ろう輸血のこと)	NTT東日本札幌病院	68名
10月	1日 輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長)	旭川医療センター	10名
	1日 輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長)	余市協会病院	9名
	3日 院内説明会 (輸血用血液製剤の特徴と取り扱い、輸血副作用)	勤医協札幌病院	31名
	9日 集合型研修会 (看護師さんの輸血 寺子屋)	北海道赤十字血液センター 釧路事業所	37名
	10日 院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと副作用、輸血過誤事例)	美しが丘病院	35名
	10日 院内説明会 (指針改定のポイント)	北斗病院	31名
	11日 院内説明会 (自己血輸血の注意点)	えにわ病院	118名
	12日 院内説明会 (輸血の注意点)	釧路労災病院	26名
	12日 院内説明会 (輸血の注意点)	標茶町立病院	31名
	12日 院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用、輸血過誤事例)	千歳病院	11名
	15日 輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長)	旭川赤十字病院	12名
	15日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い方および輸血による細菌感染)	町立松前病院	17名
	16日 輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長と融解方法)	勤医協中央病院	7名
	16日 輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長)	豊岡中央病院	6名
	17日 輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解方法)	市立室蘭総合病院	9名

開催日	名 称	場 所	参加者数
17日	輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長と融解方法、輸血用血液製剤取り扱い)	旭川医科大学病院	22名
17日	院内説明会 (輸血の注意点)	釧路谷藤病院	32名
17日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	平和リハビリテーション病院	26名
18日	輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長)	函館赤十字病院	5名
18日	輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長と融解方法)	朝里中央病院	8名
19日	輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解方法)	日鋼記念病院	7名
24日	院内説明会 (新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長)	北海道中央労災病院	10名
25日	院内説明会 (非溶血性輸血副作用、不規則抗体とは、不規則抗体を保有している患者への輸血の対応)	北海道内科リウマチ科病院	48名
26日	輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解方法、輸血用血液製剤取り扱い)	札幌病院	6名
26日	院内説明会 (新鮮凍結血漿の融解方法、医療機関における輸血管理体制)	市立函館病院	18名
27日	集合型研修会 (今日で輸血療法の不安を解消)	北海道赤十字血液センター 釧路事業所	19名
27日	集合型研修会 (輸血用血液製剤の取り扱い方)	北海道赤十字血液センター 函館事業所	45名
29日	院内説明会 (輸血用血液製剤の特徴と取り扱い、輸血副作用)	若葉台病院	7名
29日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い)	道北勤医協宗谷医院	9名
30日	院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用、輸血過誤事例)	日高町立門別国民健康保険 病院	59名
30日	院内説明会 (安全で適正な輸血のために)	士別市立病院	35名
31日	院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用、輸血過誤事例)	えりも町国民健康保険診療 所	8名
31日	院内説明会 (輸血の注意点)	開西病院	58名
31日	集合型研修会 (看護師さんの輸血寺子屋)	北海道赤十字血液センター 旭川事業所	15名
11月 1日	集合型研修会 (看護師さんの輸血寺子屋)	北海道赤十字血液センター 旭川事業所	10名
5日	院内説明会 (輸血の注意点)	釧路赤十字病院	30名

開催日	名 称	場 所	参加者数
5日	院内説明会 (輸血用血液製剤の特徴と取り扱い、輸血副作用)	若葉台病院	17名
6日	輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解方法、輸血用血液製剤取り扱い、輸血 用血液製剤一覧、輸血用製剤の取り扱い方)	道立江差病院	6名
7日	院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用、輸血過誤事例)	白老町立国民健康保険病 院	48名
7日	十勝検査技師会 (さあ困ったこんなときどうする～血液型検査オモテウラ不一致 編～)	北斗病院	20名
8日	院内説明会 (輸血の注意点)	芽室病院	38名
12日	輸血療法委員会 (2017年非溶血性輸血副作用)	釧路赤十字病院	10名
13日	輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長)	勤医協札幌病院	5名
13日	輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長)	市立旭川病院	10名
13日	集合型研修会 (輸血の問い合わせにお答えします)	北海道赤十字血液センター 釧路事業所	21名
14日	輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解方法、輸血用血液製剤取り扱い)	時計台記念病院	12名
14日	院内説明会 (こんな時どうする輸血検査の異常反応)	済生会小樽病院	7名
15日	輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長と融解方法、輸血用血 液製剤の取り扱い、輸血用血液製剤一覧、輸血用製剤の取 り扱い方)	函館赤十字病院	4名
16日	院内説明会 (安全な輸血のために一きちんと知ろう輸血基礎知識一)	町立寿都診療所	18名
19日	院内説明会 (安全な輸血のために一きちんと知ろう輸血基礎知識一)	勤医協中央病院	50名
20日	輸血療法委員会 (輸血用血液製剤の取り扱い)	勤医協中央病院	10名
21日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血過誤事例)	栗山赤十字病院	28名
21日	院内説明会 (新人看護師研修会)	富良野協会病院	15名
22日	輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿融解後の取り扱い)	市立稚内病院	12名
22日	院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用、輸血過誤事例)	苫小牧日翔病院	100名
26日	輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解方法)	旭川医療センター	10名
26日	院内説明会 (輸血手技の基礎と注意点を○×問題で理解しよう)	斜里町国民健康保険病院	47名

開催日	名 称	場 所	参加者数
	27日 輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解方法)	士別市立病院	6名
	27日 院内説明会 (きちんと知ろう輸血のこと)	札幌同交会病院	54名
	28日 輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿融解の注意点)	札幌北楡病院	9名
	28日 輸血療法委員会 (新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長)	北海道医療センター	15名
	29日 院内説明会 (輸血の注意点)	釧路第一病院	32名
	29日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い方、WEB発注の操作方法と注 意点)	せたな町立国保病院	3名
	29日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと注意点、最近の話題)	勤医協中央病院	63名
	30日 輸血療法委員会 (2017年輸血感染症例)	北見赤十字病院	6名
	30日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血検査)	北海道病院	13名
12月	3日 院内説明会 (輸血の注意点)	黒澤病院	26名
	4日 院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用、輸血過誤事例)	茨戸病院	28名
	5日 輸血療法委員会 (廃棄率)	斜里町国民健康保険病院	12名
	5日 道央地区臨床検査技師会 (知っておきたい献血事業の現状とこれから)	苫小牧市立病院	8名
	7日 院内説明会 (輸血用血液製剤の特徴と取り扱い、血液製剤の使用指針、 不規則抗体)	砂川市立病院	70名
	10日 院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用、輸血過誤事例)	札幌田中病院	96名
	10日 院内説明会 (輸血の注意点)	岩見沢北翔会病院	9名
	12日 輸血療法委員会 (輸血による細菌感染)	留萌市立病院	12名
	12日 集合型研修会 (血液型検査～オモテウラ不一致編～)	釧路赤十字病院	17名
	12日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	北海道病院	132名
	17日 輸血療法委員会 (輸血による細菌感染)	市立函館病院	19名
	17日 輸血療法委員会 (救急外来・ドクターヘリにおける血液型ダブルチェック)	旭川赤十字病院	14名

開催日	名 称	場 所	参加者数
	17日 院内説明会 (不規則抗体陽性時の対応、輸血による細菌感染)	済生会小樽病院	8名
	17日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血検査)	時計台記念病院	41名
	18日 輸血療法委員会 (輸血による細菌感染)	勤医協中央病院	8名
	18日 院内説明会 (輸血の問い合わせにお答えします)	鹿追町国民健康保険病院	14名
	18日 院内説明会 (血液型と不規則抗体)	西岡第一病院	61名
	19日 輸血療法委員会 (輸血による細菌感染)	市立室蘭総合病院	11名
	19日 輸血療法委員会 (輸血後細菌感染、輸血用血液製剤取り扱いマニュアル)	旭川医科大学病院	21名
	20日 輸血療法委員会 (輸血による細菌感染)	朝里中央病院	10名
	20日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと注意事項、輸血過誤と輸血副作用)	朝里中央病院	59名
	21日 院内説明会 (輸血療法の基本)	函館中央病院	17名
	25日 院内説明会 (輸血の流れ)	剣淵町立診療所	4名
	28日 輸血療法委員会 (輸血による細菌感染)	札幌病院	7名
平成30年 1月	8日 輸血療法委員会 (輸血による細菌感染、輸血用血液製剤取り扱いマニュアル、 日本赤十字社医薬品情報WEBサイト)	道立江差病院	5名
	9日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い)	函館記念病院	3名
	15日 輸血療法委員会 (日本赤十字社医薬品情報WEBサイト)	勤医協中央病院	7名
	15日 輸血療法委員会 (輸血による細菌感染)	士別市立病院	6名
	16日 輸血療法委員会 (輸血による細菌感染)	帯広厚生病院	16名
	16日 輸血療法委員会 (輸血による細菌感染)	時計台記念病院	10名
	16日 院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用、輸血過誤事例、輸 血マニュアルの検証)	新冠町立国保診療所	25名
	17日 輸血療法委員会 (輸血による細菌感染)	市立釧路総合病院	9名
	17日 輸血療法委員会 (日本赤十字社医薬品情報WEBサイト、看護師のための臨床 輸血セミナー)	函館赤十字病院	5名

開催日	名 称	場 所	参加者数
17日	院内説明会 (輸血後感染症対策)	同樹会 苫小牧病院	68名
17日	集合型研修会 (輸血検査の寺子屋スタンダード)	旭川赤十字病院	10名
17日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血過誤と輸血副作用、輸血実施時の注意事項、最近のトピック)	さっぽろ二十四軒病院	31名
18日	輸血療法委員会 (対応マニュアルの検討)	日鋼記念病院	7名
18日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血実施時の注意事項、血液型と輸血過誤)	野口病院	27名
21日	輸血療法委員会 (輸血による細菌感染)	釧路赤十字病院	12名
22日	輸血療法委員会 (外観確認)	市立旭川病院	10名
23日	輸血療法委員会 (輸血による細菌感染)	札幌北楡病院	12名
23日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、細菌感染)	函館記念病院	15名
24日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	余市協会病院	38名
25日	輸血療法委員会 (輸血による細菌感染)	北見赤十字病院	5名
25日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	札幌南三条病院	39名
28日	輸血療法委員会 (輸血による細菌感染)	旭川医療センター	10名
29日	院内説明会 (血液型と不規則抗体)	手稲いなづみ病院	58名
2月 5日	院内説明会 (輸血過誤事例)	向陽台病院	20名
6日	輸血療法委員会 (輸血による細菌感染)	斜里町国民健康保険病院	9名
6日	輸血療法委員会 (輸血過誤事例)	千歳第一病院	55名
7日	院内説明会 (輸血後感染症)	札幌清田病院	34名
8日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血過誤と輸血副作用、輸血実施時の注意事項)	北海道脳神経外科記念病院	40名
12日	輸血療法委員会 (輸血による細菌感染)	豊岡中央病院	5名
14日	院内説明会 (輸血の注意点)	市立根室病院	44名

開催日	名 称	場 所	参加者数
14日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	札幌共立五輪橋病院	128名
18日	輸血療法委員会 (IgA欠損患者に対する血液センターの対応)	旭川赤十字病院	14名
19日	輸血療法委員会 (赤血球製剤落下破損事例)	勤医協中央病院	8名
19日	院内説明会 (輸血用血液製剤の特徴と取り扱い、輸血過誤、輸血副作用)	札幌呼吸器科病院	13名
20日	輸血療法委員会 (赤血球製剤の落下破損にご注意ください)	市立室蘭総合病院	10名
20日	輸血療法委員会 (科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン)	旭川医科大学病院	21名
21日	輸血療法委員会 (北海道合同輸血療法研修会、看護師のための臨床輸血セミナー)	函館赤十字病院	4名
21日	輸血療法委員会 (輸血用血液製剤取り扱いマニュアル、赤血球製剤落下破損事例)	朝里中央病院	11名
21日	院内説明会 (輸血の注意点)	市立釧路総合病院	34名
22日	輸血療法委員会 (赤血球製剤の落下破損にご注意ください)	日鋼記念病院	6名
22日	輸血療法委員会 (輸血用血液製剤取り扱いマニュアル、赤血球製剤落下破損事例)	札幌病院	6名
22日	院内説明会 (今さら聞けない輸血の知識)	深川市立病院	42名
26日	院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用)	輪厚三愛病院	40名
3月 5日	輸血療法委員会 (科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン)	道立江差病院	4名
5日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血実施時の注意事項、輸血による細菌感染)	市立札幌病院	25名
6日	院内説明会 (輸血用血液製剤取り扱いと輸血副作用)	恵愛病院	33名
6日	院内説明会 (輸血知識理解度チェック)	滝上町国民健康保険病院	12名
7日	院内説明会 (輸血過誤の実例とその対策)	函館新都市病院	38名
7日	院内説明会 (輸血の注意点、製剤発注の仕方)	ふたば診療所	8名
8日	院内説明会 (輸血過誤事例)	大川原脳神経外科病院	35名
8日	院内説明会 (血液供給体制、輸血用血液製剤の特徴と取り扱い)	我汝会さっぽろ病院	8名

開催日	名 称	場 所	参加者数
11日	輸血療法委員会 (日本赤十字社医薬品情報WEBサイト、大量輸出血症例に対する血液製剤の適正な使用のガイドライン、科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン)	釧路赤十字病院	10名
12日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い方)	むとう日吉が丘クリニック	2名
13日	空知地区技師会 (輸血用血液製剤の取り扱いとよくある問い合わせ)	砂川市立病院	10名
14日	輸血療法委員会 (日本赤十字社医薬品情報WEBサイト、大量輸出血症例に対する血液製剤の適正な使用のガイドライン、科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン)	市立釧路総合病院	6名
14日	輸血療法委員会 (科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン、改訂添付文書及び新製剤ラベルを使用した新鮮凍結血漿の供給開始)	函館赤十字病院	3名
14日	院内説明会 (輸血過誤の実例とその対策)	えんどう桔梗マタニティクリニック	19名
15日	院内説明会 (輸血検査実技講習)	大川原脳神経外科病院	8名
19日	輸血療法委員会 (改訂添付文書及び新製剤ラベルを使用した新鮮凍結血漿の供給開始、使用実態調査によるABO不適合輸血事例)	勤医協中央病院	10名
19日	輸血療法委員会 (科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン)	士別市立病院	5名
19日	輸血療法委員会 (改訂添付文書及び新製剤ラベルを使用した新鮮凍結血漿の供給開始)	時計台記念病院	8名
20日	輸血療法委員会 (日本赤十字社医薬品情報WEBサイト、大量輸出血症例に対する血液製剤の適正な使用のガイドライン)	帯広厚生病院	15名
20日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血検査、輸血副作用)	川西内科胃腸科病院	27名
25日	輸血療法委員会 (改訂添付文書及び新製剤ラベルを使用した新鮮凍結血漿の供給開始、科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン)	旭川医療センター	9名
25日	院内説明会 (輸血過誤の実例とその対策)	函館おおむら整形外科病院	16名
26日	輸血療法委員会 (輸血による細菌感染)	網走厚生病院	9名
26日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	札幌ススキノ病院	33名
27日	輸血療法委員会 (日本赤十字社医薬品情報WEBサイト、大量輸出血症例に対する血液製剤の適正な使用のガイドライン、科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン)	釧路労災病院	5名
27日	輸血療法委員会 (赤血球製剤落下破損事例)	札幌北楡病院	9名
27日	輸血療法委員会 (科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン)	旭川厚生病院	11名

開催日	名 称	場 所	参加者数
27日	輸血療法委員会 (改訂添付文書及び新製剤ラベルを使用した新鮮凍結血漿の供給開始、赤血球製剤落下破損事例)	北海道医療センター	15名
28日	院内説明会 (輸血製剤取扱いと輸血副作用)	北広島病院	16名
28日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血過誤事例、輸血実施時の注意事項、新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長)	発寒中央病院	62名
29日	輸血療法委員会 (日本赤十字社医薬品情報WEBサイト、大量輸出血症例に対する血液製剤の適正な使用のガイドライン、科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン)	北見赤十字病院	8名

(3) 配布資料

Distributed Materials

名 称	時 期
輸血情報1803-157 「輸血関連急性肺障害 (TRALI) の評価・調査結果について」	平成30年 4月
輸血情報1803-158 「E型肝炎ウイルス (HEV) 感染について」	4月
輸血情報1804-159 「輸血用血液製剤の安全対策の導入効果と輸血によるHBV, HCV及びHIV感染のリスク」	4月
輸血情報診療報酬特別号1804 「輸血用血液製剤の診療報酬及び薬価・医薬品コード・レセプト電算コード等について -平成30年4月現在-」	4月
輸血情報1805-160 「血液製剤の使用指針-新生児・小児に対する輸血療法-」の改定について	5月
輸血情報1807-161 「輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例－2017年－」	7月
輸血情報1807-162 「赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用－2017年－」	7月
新鮮凍結血漿 (FFP) の融解後使用期限延長のお知らせ	9月
輸血情報1810-163 「新鮮凍結血漿 (FFP) の融解方法について (0902-117の改訂版)」	10月
輸血情報1810-164 「輸血用血液製剤の取り扱いについて (1611-150の改訂版)」	10月
輸血用血液製剤の取り扱いについて (ポスター) (2018年10月改訂版)	10月
輸血用血液製剤取り扱いマニュアル (2018年12月改訂版)	12月
輸血情報1812-165 「輸血による細菌感染について」	12月
改訂添付文書及び新製剤ラベルを使用した新鮮凍結血漿の供給開始のお知らせ	平成31年 3月